

## 救助用ユニットの紹介

(小平2小隊にて運用)

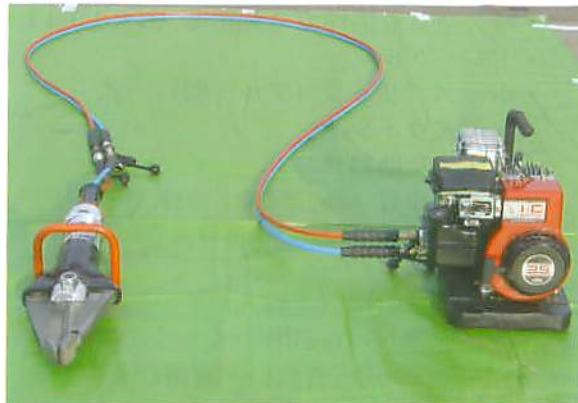
### 1 救助用ユニット

各種救助資器材を常時積載しており、救助活動の特命出場によりポンプ車のホースカーと入れ替えて出場するものであります。



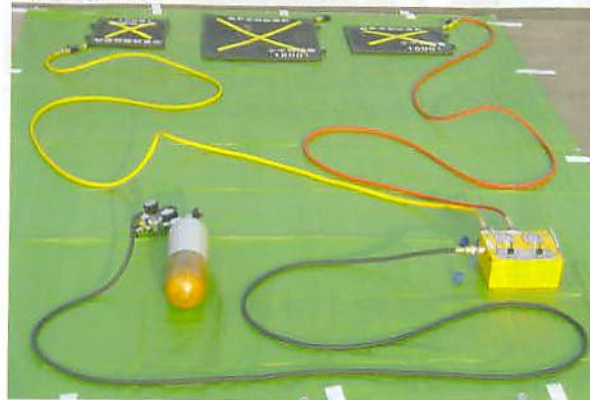
### 2 レスキューツール

パワーユニットの油圧により、スプレッダーを開(間隙)、閉(切断)することにより要救助者等を救出する場合に、活用するものであります。



### 3 エアーバッグ(空気式救助器具)

空気ポンプ等から、空気によりエアバッグを膨張させ、乗用車及び電車等に挟まれた要救助者に対し間隙を作り、救助する場合に活用します。



### 4 ボーカメ(救助用画像探索機)

倒壊した建物の中、排水溝及び天井裏等目視出来ない場所を、伸縮自在棒先のカメラで画像に映し、検索用として使用します。



平成16年3月23日

## 新型ポンプ車の紹介 (花小金井2小隊)



小平消防署

## 新型ポンプ車の紹介

### 1 特徴

いすゞ自動車のトラックをベースに擬装した2,000L水槽の搭載と、各種活動用資器材の積載空間の増大を両立ちさせるため、車体形状をこれまでのポンプ車のイメージを一新するオールボックス型としており、平成17年度規制に適合した低公害車を採用しています。

### 2 車両特徴等

- (1) ポンプ型式は、古谷製F5型（メカニカルシール式）A2級、2段バランスタービンを採用している。
- (2) タンク水を即座に放水するため、PTOスイッチと連動してタンク吸水コックを開閉する装置を搭載し、一動作で放水可能としている。
- (3) 消火剤及び泡剤による、連続放水可能とするために、ポンプ配管のバイパス流路を活用した混合装置を内蔵し、吸入チューブを右側側面内に収納した。
- (4) 積載資器材の増大とセキュリティ向上を図るため、シャッター及び扉による車両両側面をオールボックス化した。
- (5) 吸管部は、任意の方向に向けることが可能なスイベル式エルボを取り入れた。
- (6) 放水量の読み取りを、容易にするために流量計及び積算・総流量計をデジタル及びバーグラフ表示化し、ポンプ運用時の利便性を向上した。
- (7) 後方の一般車への注意を喚起するために発光式後部警戒灯を採用した。
- (8) 媒介金具類は、65mmホース差込式(町野式)金具対応としています。



### 3 主要諸元

- ・水槽付きポンプ車(2t水積載)
- ・全長=6.53m
- ・全幅=2.3m
- ・全高=2.75m
- ・車両総質量=10,275kg
- ・総排気量=8,226L
- ・ホイールベース=3.25m
- ・最小回転半径=5.3m
- ・トランスミッション=オートマチック(前進5段後進1段 PTOシフトインターロック付)
- ・乗車定員=7名
- ・燃料タンク容量=100L

### 4 主な装備

- ・水槽(ステンレス製2,000L)
- ・上枠付軽量ホースカー
- ・軽量吸管(φ75mm×10m)1本
- ・軽量棒吸管(φ75mm×3.4m)3本
- ・後部警光灯(フラッシュライト式)
- ・後部作業灯・サーチライト
- ・散光式赤色警光灯
- ・拡声装置
- ・電動サイレン



### 5 主な積載品

- ・チタン製三連梯子
- ・チタン製かぎ付き梯子
- ・スタンドパイプセット
- ・軽量二焦点式投光機(600W)
- ・エンジンカッター
- ・酸欠空気危険性ガス測定器(GX111)
- ・ドレーゲル
- ・ホースブリッジ(アルミ製)一式
- ・可搬式ウインチ
- ・油圧式救助器具
- ・事故防止灯(赤色回転灯、三脚、コード)
- ・れき断防止器(吊下式・LED表示装置付)
- ・万能オノ
- ・噴霧放水台座(三脚式)
- ・定流量器(50mm用)
- ・ホースバック(背負い・肩掛け兼用)